

# 産科婦人科



副院長  
診療科長  
高倉 賢二

専門医資格等 日本産科婦人科学会専門医・指導医・代議員  
日本婦人科腫瘍学会専門医  
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医  
日本産科婦人科内視鏡学会 評議員  
日本内分泌学会 評議員  
日本受精着床学会 評議員  
京都大学 医学博士  
京都大学医学部 非常勤講師  
京都大学医学部 臨床教授  
関西医科大学 臨床教授

専門分野 婦人科腫瘍  
産婦人科手術  
内分泌疾患の診断・治療

## □ スタッフ

平成28年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報部長	北岡 有喜	日本産科婦人科学会専門医・京都大学医学博士	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学	
産科婦人科医長	高尾 由美	日本産科婦人科学会専門医・指導医・京都大学医学博士・日本医師会認定産業医臨床研修指導医	産婦人科一般	婦人科腫瘍 不妊症
産科婦人科医長	住友 理浩	日本産科婦人科学会専門医・指導医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コースインストラクター・ALSO-Japan認定インストラクター	産婦人科一般	婦人科腫瘍・周産期救急・リスクマネジメント
医師	宇治田 麻里	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	産婦人科一般
医師	和田 美智子	日本産科婦人科学会専門医・日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	周産期一般
医師	川村 洋介	日本産科婦人科学会専門医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	
医師	中木 絢子	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	
医師	高倉 賢人	日本産科婦人科学会専門医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	
レジデント	小椋 恵利		産婦人科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本産科婦人科学会 専攻医指導施設 日本婦人科腫瘍学会認定研修施設 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医制度研修施設(指定) 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医研修施設
-------	---

#### ～産科～

何よりも安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足のいく分娩を提供します。

女性にとって、お産は重要なイベントです。そして、それぞれのお産についての妊産婦さんの考えや要望は年々変化してきています。私たちは、お産の質の向上、および医療者側のお産に対する的確な対応が、ますます大切なものとなってきていると考えています。

#### ～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術（腹腔鏡手術や腔式手術、小開腹手術）を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

## □ 診療（業務）内容

#### ～産科～

1. 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い、生活指導なども適宜行っています。
2. 分娩（出産）は、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科（NICU）・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。  
合併症妊娠やハイリスク妊娠の症例も多く取り扱っています。2015年度の周産期救急搬送（母体搬送）の受け入れ件数は39件で地域の周産期救急にも積極的に貢献しています。医学的根拠に基づいた安全で安心なお産を提供すべく、日々努力しています。
3. 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。

#### ～婦人科～

1. 治療前のインフォームド・コンセントを重視します  
十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
2. 幅広い婦人科疾患に対応します  
充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広い婦人科疾患に対応可能です。
3. 低侵襲手術を行います  
女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、悪性（癌）の疑いのない腫瘍に対しては、積極的に低侵襲手術（腹腔鏡下手術、腔式手術、小開腹手術）を行い、早期の社会復帰を目指します。
4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います  
京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会認定施設に指定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。子宮頸癌に対する神経温存広汎性子宮全摘術に関しては2007年から先駆けて行っています。卵巣癌、子宮体癌に対しても、傍大動脈リンパ節郭清までの必要十分な手術を行う一方で、緻密な出血量の少ない手術操作により術後合併症を回避し、術後早期回復をはかります。リンパ浮腫専門外来を擁し、退院後のQOLにも配慮した診療を行います。
5. 更年期からの健康管理を推進します  
直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期（50歳前後）からの健康管理が重要になります。更年期障害や骨粗鬆症などの女性特有の疾患に対応するため更年期からの健康管理を推進します。

## □ 診療実績(平成28年度)

### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
23.5名	1,230名	7.0日

### 外来患者数

1日平均患者数
56.4名

### 主な手術・検査の件数など

分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術	悪性腫瘍手術
405件	107件	208件	85件
腹腔鏡下手術	腔式手術		
87件	221件		

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	学会名・演題・演者
国内学会	第48回日本臨床分子形態学会 生殖器の発生学ー男性中心仮説から男女共同参画へー 小西郁生 2016.9.23 熊本
国内学会	第54回日本癌治療学会 婦人科がんの新規治療法開発とがん予防推進の社会的活動 小西郁生 2016.10.21 横浜
国内学会	第1回日本肉腫学会・日本臨床肉腫学会 婦人科肉腫の診断と治療 小西郁生 2016.12.2 京都
研究会	第135回鹿児島県産科婦人科学会 再発がんに対する手術療法について 小西郁生 2016.9.17 鹿児島
研究会	第42回京都医学会 新たな卵巣がん治療の開発ーゲノム解析と個別化治療の道ー 小西郁生 2016.9.25 京都
研究会	第41回岡山産科婦人科学会 婦人科がん再発の手術療法 小西郁生 2016.11.20 岡山
TV・ラジオ出演	FM845「からだ元気」出演 がん治療の最新情報 小西郁生 2017.1.31 京都
国内学会	第32回日本糖尿病・妊娠学会 妊娠糖尿病褥婦の産褥早期のインスリン感受性に及ぼす母乳哺育の効果 安日一郎、山下洋、野見山亮、久保紀夫、小川昌宣、大藏尚文、川上浩介、林公一、水之江知哉、兒玉尚志、多田克彦、前田和寿、前田眞、前川有香、住友理浩 2016.11.18 岡山
国際学会	37th Society of Maternal Fetal Medicine Annual Pregnancy Meeting Exclusive breastfeeding improves insulin sensitivity independent of maternal weight change during early postpartum in gestational diabetic women Ichiro Yasuhi, Hiroshi Yamashita, Makoto Nomiyama, Norio Kubo, Masanobu Ogawa, Naofumi Okura, Kosuke Kawakami, Kimikazu Hayashi, Tomoya Mizunoe, Takashi Kodama, Katsuhiko Tada, Kazuhisa Maeda, Makoto Maeda, Yuka Maekawa, Masahiro Sumitomo 2017.1.27 Las Vegas
国内学会	第24回 日本胎盤学会 Wnt5aはPKCとJNKの活性化を介して胎盤形成に関与しうる 宇治田麻里、近藤英治、川崎薫、千草義継、佐藤麻衣、高井浩志、清川晶、最上晴太、松村謙臣、小西 郁生 2016.11.25 和歌山
研究会発表	第3回 内分泌代謝トランスレーショナル医学塾 妊婦の甲状腺機能異常が出生児に与える影響 和田美智子、小椋恵利、高倉賢人、中木絢子、川村洋介、宇治田麻里、住友理浩、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 2017.3.24 京都
研究会発表	第6回 京都周産期カンファレンス 子宮動脈瘻に中間型トロホプラストの長期存続を認めた一例 和田美智子、高尾由美、小椋恵利、高倉賢人、中木絢子、川村洋介、宇治田麻里、住友理浩、高倉賢二、小西郁生 2016.11.12 京都
研究会発表	第8回 京都産婦人科救急診療研究会 妊娠29週子宮内胎児死亡を契機に糖尿病ケトアシドーシスと診断された劇症1型糖尿病の一例 和田美智子、高尾由美、小椋恵利、高倉賢人、中木絢子、川村洋介、宇治田麻里、住友理浩、北岡有喜、高倉賢二、小西郁生 2016.10.2 京都
国内学会	第58回 日本婦人科腫瘍学会 診断に苦慮した未妊女性の卵巣性索腫瘍類似子宮腫瘍の1例 川村洋介、下園寛子、高倉賢人、中木絢子、秦さおり、和田美智子、奥田亜紀子、住友理浩、高尾由美、北岡有喜、高倉賢二 2016.7.8 米子
研究会発表	京都女性のヘルスケア研究会 事前に超音波で診断し得なかった部分胎状奇胎の3例 中木絢子、住友理浩、小椋恵利、高倉賢人、川村洋介、和田美智子、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二 2016.11.22 京都
国内学会	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会 帝王切開時に子宮動脈および卵巣固有靭帯を結紮し保存的に管理した前置癒着胎盤の1例 高倉賢人、住友理浩、下園寛子、川村洋介、秦さおり、和田美智子、奥田亜紀子、江川晴人 2016.7.16 富山
研究会	第134回近畿産科婦人科学会学術集会 子宮内膜症性嚢胞に対してジエノゲスト投与中に卵巣明細胞癌を発症した1例ー12年間の経過観察例ー 高倉賢人、下園寛子、川村洋介、秦さおり、和田美智子、奥田亜紀子、住友理浩、高尾由美、高倉賢二 2016.6.5 京都

研究会	京都産婦人科学会 平成28年度学術集会 分娩後16時間経過してから発症した腔外陰部血腫に対し、経カテーテル的動脈塞栓術が有効であった1例 小椋恵利、住友理浩、高倉賢人、中木絢子、川村洋介、和田美智子、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 2016.10.8 京都
国内学会	第68回日本産科婦人科学会学術講演会 加齢による子宮頸部MRI所見の変化～頸部stromal ringに注目して～ 松尾恵利、濱西潤三、杉並興、伊尾紳吾、馬場長、近藤英治、小西郁生 2016.4.23 東京

## □ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名
小西郁生	標準的治療からゲノム個別化治療へ 2017;94(2):青ページ1-2	臨床と研究
近藤英治、小西郁生	選択的プロゲステロン受容体修飾薬 (SPRM)2017;71(1):121-126	臨床婦人科産科
Koshiyama M, Matsumura N, Konishi I	Review. Subtypes of ovarian cancer and ovarian cancer screening 2017.7.12;doi:10.3390 [Epub]	Diagnostics
下園寛子、住友理浩、高倉賢人、中木絢子、 川村洋介、秦さおり、和田美智子、奥田亜紀 子、江川晴人	母児ともに救命し得た「分娩型」劇症型A群 β溶連菌感染症の2症例 2016;52(3):954-958	日本周産期・新生児医学会雑誌
伊藤美幸、川村洋介、秦さおり、住友理浩、江 川晴人、高尾由美、高倉賢二	Alpha-fetoprotein 高値を示し、肝臓腺癌と 漿液性腺癌が混在した子宮体癌の一症例 2016;34(2):162-168	日本婦人科腫瘍学会雑誌